

1 審議会名	上田城南地域協議会
2 日時	令和3年12月16日 午前10時00分から正午まで
3 会場	城南公民館 1階 大ホール
4 出席者	相田委員、市川委員、江藤委員、小林委員、竹内委員、田玉委員、龍野委員、田中委員、西入委員、増澤委員、松田委員、宮坂委員、宮澤委員、安江委員、柳澤委員、山岸委員、横山委員、若林委員、渡辺委員
5 市側出席者	【事務局】滝澤城南地域振興政策幹、片山地域内分権推進担当係長、滝沢地域内分権推進担当主査、芳池地域内分権推進担当主事
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和4年1月20日

## 協議事項等

## 次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 協議事項

(1) 「防災」「高齢者福祉」「産業振興」部会による報告会

「防災部会」

部会長から意見書の内容について説明

以下、委員からの主な意見

(会長)情報伝達・情報配信に焦点を当てて、ICTを理解できている人は活用して、できていない人は別の方法を取るという考え方でよいのではないかと。

また、積極的にハザードマップの説明会を開催してほしいという内容について、令和元年東日本台風災害時、城南地域の中でも城下地区の被害が大きかったため、災害時の記憶が薄れないうちにとの意味で、タイミング的にも非常によいのではないかと。

指定緊急避難場所の川辺小学校、創造館も満員になってしまい、最終的に川辺・泉田地区防災センターへ避難誘導をした。全員がそこに避難することは収容人数的に無理がある。そういった意味で、市では分散避難の呼びかけがあった。分散避難になると、行く先が決まっていなくて困る。避難先はアンケート等で、自治会として情報は掴んでいるのか。

(委員)自治会員に令和2年8月の広報うえだに掲載された「我が家の防災計画」の話をした際に、半分くらいの方が広報うえだを捨ててしまい手元にないという状態だった。市の担当課と印刷業者に依頼して、御所自治会版を作成し、希望する自治会員に配布した。

実際に避難したかどうか確認を取りたいという要望があり、自治会内の8割の方の世帯名簿をいただき、データベース化した。隣近所の関係が非常に薄いので、自治会で集中してデータを集めておき、そこから発信するため、自治会で予算を組んでインターネットを接続してある。3年かけてパソコンも4台用意して、ネット接続とUCVの情報を取れるようにしてあるが、どのように継承していくかが問題である。

高齢者の勉強会等も行っているが、若い人たちに役員になってもらえれば、メールで連絡を取り合うなど、設備を有効に使ってもらえる。

(委員)水害が起きた場合の、城下地区の住民の避難場所を決めてほしい。

(会長) 親戚宅等に避難できる方はよいが、分散避難の場合、避難所に避難するしかない方については、この地域の方はここへ行ってくださいというように、ある程度明確化されていると非常にわかりやすい。また枠が確保されていると尚よいのではないか。

(委員) どれも満員で行くところが無かったため、朝日ヶ丘にある児童館に中村自治会の方を含めて避難した。お弁当や毛布が欲しいと市に要望したところ、指定避難場所ではないから無理だということで、創造館で分けてもらうよう指示され、創造館に行き分けてもらった。

(委員) 次の4点を提言内容の中に是非入れてほしい。

(1) 自治会との連携をもっと密にする体制を取ってほしい。

(2) 避難場所をもっと拡大してほしい。

(3) 地域のネットとして公民館等が中心となるため、各公民館に市の予算でテレビとWi-Fi設備を予算化してほしい。

(4) 上田市全域で、大型商業施設や学校など大型駐車場を避難場所にして、テントの準備をしてほしい。現在は避難場所として屋内しか考えていないが、大型駐車場は絶対に有効な避難場所になるはずである。車で避難して車内で過ごすことができ、またテントがあれば、家族単位で避難することができてコロナ対策にもなる。災害時に駐車場を避難場所として使用することを協定として結べないか。

(委員) 自治会へのICT導入やWi-Fiについて、またUCVの契約については各自治会で申請する方が早いということがある。Wi-Fiについては、部会の中でも意見が出ており、ICTの導入に含めてお願いをしていくべきと考えている。

避難場所については、実際の問題として課題であるが、今回私たちは情報の伝達について限定的に協議した。避難場所についてはまだ協議していないため、提言に含めるか検討中である。

災害ハザードマップに合わせた説明会については、自治会連合会でも市に対して要望をすると聞いている。避難場所はハザードマップにも明記されているので、それに絡めて自治会連合会の要望としても挙げていただきたい。

#### 「高齢者福祉部会」

部会長から意見書の内容について説明

以下、委員からの主な意見

(委員) 提言3「行政・関係機関の指導・支援・補助金等」の、「活動団体も数が多ければよいということではない。団体数を最小限にし、内容を充実した上で、活動も週1回位にした方が、本来の目的である介護・認知症予防としての、実行性がある。」とあるが、諏訪形で年1回の事業を書いていたが、これは目的がそれぞれ違う事業である。介護・認知症予防ということではなくて、地域の方の交流を深める、小学生との交流を深めるなど、高齢者だけでなく若い人との交流を深めるということ、諏訪形の社会福祉協議会で活動している内容である。これを数が多ければよいというわけではないという括りにしていただくのは、少し違うと感じる。介護・認知症予防について、更に何か検討を進めていただくために、週1回とすることは素晴らしいと思うが、今までの事業はそれぞれの団体の皆さんが精一杯行っていることなので、違う言い回しをした方がよいのではないか。

(委員) 介護予防・認知症予防は当然だが、一番は社会参加や、コミュニケーション作りが重要であると考えている。それぞれの事業も大切だが、集約できる場所は集約するという意味である。予防的なことは運動だけでなく、お茶飲みや映画鑑賞、歌を歌うことも含んでいる。そういったものが、B型サービスには全

部含まれている。また、集約することができれば、スタッフ不足の解消にもなる。

「産業振興部会」

部会長から意見書の内容について説明

委員からの意見は特になし

4 その他

(1) 地域協議会だよりについて事務局から説明

(2) 第8期 上田市地域協議会意見書手交式

日時 令和4年1月20日(木) 午後1時30分から午後3時30分まで

場所 上田市役所 4階庁議室

参加者 上田城南地域協議会正副会長 各部会代表者

(3) 次回予定

3月15日(火) 10時から

城南公民館 大ホール

5 閉会